

I 活動の概要

本年度の地域貢献ワーキンググループ（以下WG）は、次の2つの活動を行った。

- (1) パソコンを組み立ててみよう講習会
- (2) 大学開放イベントへの参加

(2)大学開放イベントへの参加 についてはWG全員で取り組み、(1)パソコンを組み立ててみよう講習会 については有志6人でグループを組んで開催した。

II 活動内容

- (1) パソコンを組み立ててみよう講習会

年間4回の講習会を計画し実施した。教室の改修のため前期は産学官連携推進機構棟（旧VBL棟）で実施し後期は工学部ものづくり工房（旧102号教室）で実施した。また、第3回から新しいCPUクーラー、第4回からSSDを取り入れた内容であった。

- (2) 大学開放イベントへの参加

地域との連携・交流を目的に開催される大学開放イベントに参加した。本年度は子どもたちにストロー飛行機を作って飛ばしてもらった。例年、WGの技術職員は、長期業務依頼先のイベント参加との兼ね合いで、イベント当日は技術部の企画に参加できないメンバーが多く、人員不足気味であった。さらに本年度は、作った飛行機を外で飛ばしてもらったため必要な人員が増えた。そこで5名の学生をスタッフに編入し総勢16名で行った。

安全対策としては、工作にハサミを使用した。対象者が4歳から小学生であったため、小さい子ども用のハサミも用意した。

III 活動の実行と結果

各活動は

- ・(1) パソコンを組み立ててみよう講習会： 西村 電気・電子工学系前任技術専門職員
- ・(2) 大学開放イベント： 木庭 電気・電子工学系第2技術班長

の2名が、夫々実行指導者としてスタッフを指揮し、WG活動を行った。活動結果としては、(1)パソコンを組み立ててみよう講習会は学科との業務上のトラブルも無く、参加者から好評を得た。また、(2)大学開放イベントは事故も無く、多数の参加者の好評の中、無事終了することが出来た。